

学力をつける前提として、正しい「志」をもつことが大切です

清風学園 対談 シリーズ

仏教に基づく人格教育
を実践する清風中学校・
高等学校の平岡宏一校長
と、評論家の宮崎哲弥さ
んが対談。次代のリー
ダーを育てる教育論を語
り合いました。

ままになると誤解するから、
欲望や愛憎に苦しむというの
が仏教の教えです。心に翻
弄されない方法を教えること
は、まさに今、学校教育に
求められる部分であり、私
学に期待されることです。

—生徒と先生の距離が近い
のも私学の特長です

—清風中学校・高等学校の
「志」教育とは

平岡 本校では、学力をつ
ける前提として、何を学び、
どのような人物になりたいか、
という「志」を大切にしてい
ます。志が間違っていれば、
優れた知識や能力は逆に人
を不幸にしかねない。正しい
志を持ち、多くの人の役に
立つ生き方を「福の神コース」
と呼んで、高野山等での修
養行事や100歩行など、
様々な取り組みをしていま
す。

とりわけ重視しているのが
毎日の朝礼です。全員が般
若心経を唱えて心を整えた
後、私が仏教にまつわる話を
繰り返し語りかけます。心
のありようを変えるには同じ
話を何度も咀嚼し、完全に
自分のものにする必要がある
からです。

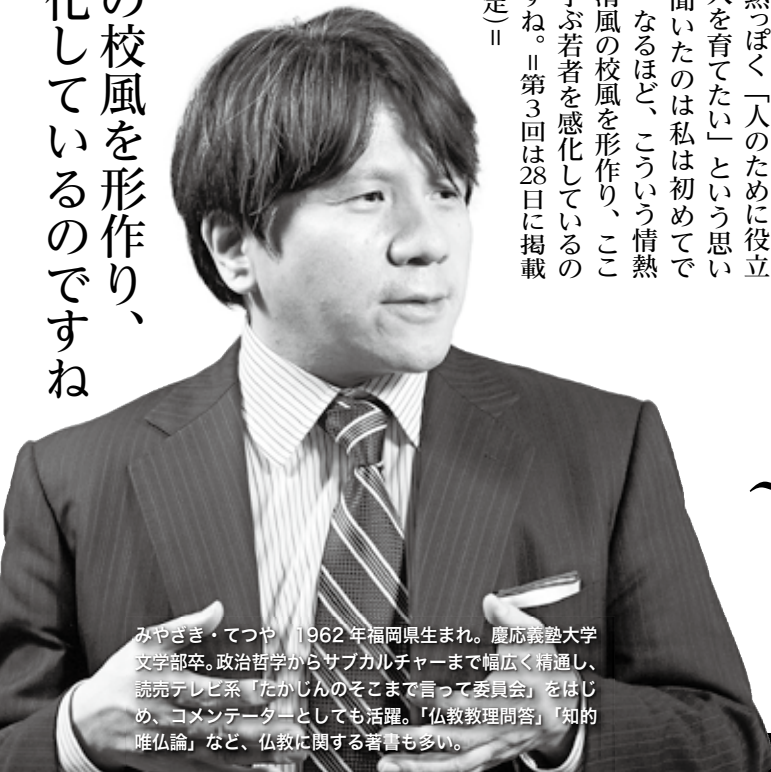


宮崎 その朝礼は仏教の教
えを心に定着させる修行で
あると同時に、生徒たちに
心を制御する方法を教えて
いるわけですね。

平岡 仏教の基本は「自分
の心とどう向き合うか」で
す。道徳が宗教に根差す以
上、情操教育は私学にし
かできないと自負しています。

宮崎 自分の心は自分の意
のままにはなりません。意の

その情熱が清風の校風を形作り、
学ぶ若者を感化しているのですね



みやざき・てつや 1962年福岡県生まれ。慶応義塾大学
文学部卒。政治哲学からサブカルチャーまで幅広く精通し、
読売テレビ系「たかじんのそこまで言って委員会」をはじめ、
コメンテーターとしても活躍。「仏教教理問答」「知的
唯仏論」など、仏教に関する著書も多い。



ひらおか・こういち 1961年大阪市生まれ。早稲田大
学第一文学部卒。高野山大学大学院博士課程単位取得。
チベット仏教を学ぶため、2年間インドに留学した。
清風中学校・高等学校で、社会科教師、副校長を経て、
2011年から現職。

自分の心とどう向き合うか ～清風学園「全員必修」「福の神コース」への招待～

対談

宮崎 哲弥

評論家

平岡 宏一

清風中学校・高等学校校長

第2回